

MEMS2003 開催される

第16回国際微小電気機械システム会議 (MEMS-2003、IEEE Micro Electro Mechanical Systems Conference) が平成15年1月19日より23日まで国立京都国際会館にて開催されました。

今回のMEMS2003では、前年度の454件を上回る500件の投稿論文の中から、22件の口頭発表と151件のポスター発表が採択されました。投稿論文の採択率は約35%で、投稿数が急増した1995年以来、採択されるのが大変難しい会議となっています。また、会期中の参加登録者総数は664名とのことで、ラスベガス(米)を会場に700名を超えた前回は若干下回っていますが、約半数は海外からの参加者ということで、国際会議の名に相応しいものになりました。

MEMSは、1987年に始まったMicro Robots and Teleoperators Workshopを母体として、1999年に現在の名称に変更されました。投稿論文数、参加者数共に増加を続けるMEMSでは口頭発表に一貫してシングルセッション形式を堅持し続けています。全体の採択率確保のためとも思われますが、口頭発表数を昨年の41件から22件に件数を抑えたことについては主催者側の苦心も伺われる反面、参加者からは必ずしも好意的に受け止めて貰えなかったように思われます。一方採択数が多かったポスターセッションにもレベルの高い研究事例が数多く認められました。また、新しい試みとして行われたPoster Previewは、各日のポスターセッションに先立ってカテゴリー毎の発表内容の分類や解説者がピックアップしたトピックスを説明するもので、参加者にとって好意的なサービスだったと思います。

発表件数の地域別の比較では、米国の71件が最も多く、日本はこれに次ぐ49件を数えました。今回ヨーロッパからの発表が19件と少なかったことが目立った一方で、昨年と同様に韓国、台湾からの発表の伸びが顕著でした。(図1、図2参照)

また、来場者アンケートでは来場者の関心が最も高かったのは材料と加工技術に関連する発表でしたが、バイオ、マイクロ流体関連を合わせると

それらを上回り、これらの分野に対する関心が高いのは、昨今のMEMSマイクロマシン関連の国際会議に共通する傾向と考えられます。

MEMS2003の投稿・採択論文の分野別・地域別の分析や来場者アンケートの集計などが、下記の立命館大学のWebサイトに掲載されています。

<http://www.ritsumei.ac.jp/se/tabata/mems2003/>

MEMS2003の予稿集は下記URLに購入申込書が掲載されています。

<http://home.inter.net/mems2003/>

(ソフトカバー、711ページ、1部12,000円、IEEE会員割引価格10,000円 CD-R、送料込み)

また、次回のMEMS2004は平成16年1月25日から29日、オランダのマーストリヒトで開催される予定です。プログラム等については下記URLに順次掲載されます。

<http://www.mems2004.org>

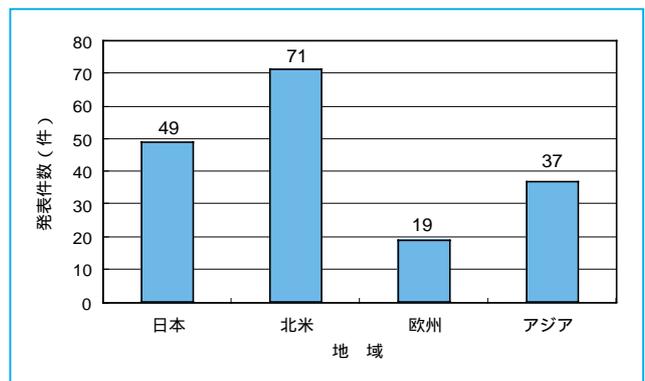


図1. MEMS2003の地域別発表件数

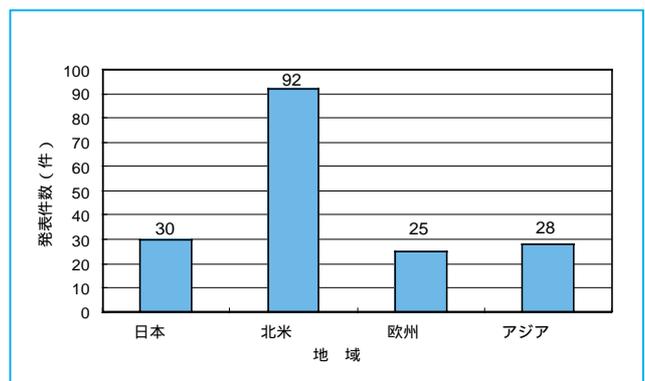


図2. MEMS2002の地域別発表件数比(参考)